



北前船の時代から今に伝わる「天下の奇祭」

# 美川 おかえり祭り

藤塚神社の春季例大祭として行われる「おかえり祭り」の始まりは江戸時代の中期、今から約300年前と伝えられています。蒔絵や漆、螺鈿など美川仏壇の技術が至る所に施された、絢爛豪華な13台の台車と、高らかなラッパの音に先導された神輿が「港町・美川」を2日間練り歩きます。

## ● 18日(土) 神幸祭(じんこうさい)

早朝より、13台の台車に先導された神輿が美川地区を巡ります。見どころは、午前9時頃からのJR美川駅前での神輿の乱舞、また午後10時を過ぎた頃に、神輿が高浜御旅所に到着し、ラッパの音が次第に速くなり、旗手、神輿の乱舞が行われ、1日目のクライマックスを迎えます。更に神輿が右旋、左旋しながら鳥居をくぐり神幸祭は終了します。



## ● 19日(日) 還幸祭(かんこうさい)

夜までは、神輿、台車ともに高浜御旅所におかれており、御旅所は訪れた参拝客で大いに賑わいます。午後7時頃、1番目の台車が動き出すと、それに続き1台また1台と列をなして一路「おかえり筋」へと向かいます。午後8時頃、神輿はおかえり筋の男衆に担がれ出輿し、光と音の祭典の始まりとなります。(今年は中町がおかえり筋にあたります。)この“おかえり筋”とは、10町ある1町の通りのことで、10年に1度だけ神輿が藤塚神社本宮へお帰りなさる時の通りとなることから言われています。おかえり筋の家々では、友人・知人など大勢の客を招待し、小宴を催します。

